



# 岩崎元郎さんと行く“地球を遠足”&『山の遠足』

## ぶらんぶらん通信

2018年 新年号

### 新年おめでとうございます。

2018年、1月14日～22日の89回目になる「スリランカの聖山アダムスピーク登頂」から“地球を遠足”14年目がスタートする。第1回目は2005年、ぼくが還暦の年の3月、シヤクナゲ満開のネパール・アンナプルナ・エリアのプーン・ヒルへのトレッキングだった。28日がぼくの誕生日、コース途上にあるロッジで還暦祝いのパーティーを開催してくれたのが、そのときのツアーリーダーであり、本企画言い出しっぺである芹澤健一社長。

以降、回を重ねるごとに盛り上がり、昨年12月6日～15日には88回目になるタスマニアを楽しんできた。“地球を遠足”は特別企画ということで、企画担当が一工夫も二工夫凝らしてくれるのがうれしい。今回は帰路にタスマニアからオーストラリア本土のメルボル

ンへ、飛行機ではなくスピリット・オブ・タスマニア号を用意してくれた。優雅な船旅に大満足、おかげでメルボルン観光もできた。

新しい年を迎え、1回目に60歳だった岩崎は73歳になる。還暦過ぎたからといっても感じなかったのに、古稀を過ぎたら脚筋力とバランスの低下を感じるようになった。べつに問題はない、これまで以上にゆっくり歩けばいいのだから。ゆっくり歩くと景色がよく見える。世界が広がる。転ぶことが少なくなる。

新しい年の始まり、“地球を遠足”同様に『山の遠足』にも力を入れたい。3月27日～30日は奄美大島が決まっている。国内の山旅というと、多くの方が日本百名山、二百名山、三百名山を思い描くようだが、百名山ばかりが山じゃあない。昨年11月下旬、山口県

の一位ヶ岳に登り、麓の俵山温泉に泊まってみた。

一位ヶ岳は、品よく、歴史があり、個性もある。標高が671.6m、もし1500m以上あったら、そしてもし深田久弥さんが登っていらっしゃったら、日本百名山に選定されていただろう。高さが足りないばかりに選から漏れ、地方に埋もれたままの名山は数多いはず。そんな名山を温泉とからめて探していったら面白かろうと思う。「山の遠足」のテーマに「山と温泉」も掲げるつもりだ。古稀を過ぎようと、後期高齢者と呼ばれようと、山登りを安心して続けていける場所がここにある。



岩崎 元郎  
(いわさき もとお)



テイデ山 (6月 スペイン)



ツェンケル (6月 モンゴル)



スイス・アルプス (7月 スイス)



八甲田山 (8月 青森県)



5合目佐藤小屋 (8月 富士山)



鼻曲山 (10月 群馬県)



ランタン谷 (11月 ネパール)



タスマニア (12月 ニュージーランド)



### ～歩いて健康、登って元気!～ 岩崎元郎さんの健康登山講座

全国津々浦々の会場で年間3回、救心製薬株式会社の特別協賛を得て開催しています。講座終了後、協賛各社から提供の登山靴やザックなど、豪華お楽しみ抽選会もごさいます。

#### 大阪会場

■日時: 2月27日(火) 18:30～20:30 ※開場18:00  
 ■会場: 朝日生命ホール (地下鉄御堂筋線・淀屋橋から徒歩1分)  
 第1部: 「山に登って元気になろう」  
 第2部: 「生涯登山と海外トレッキングのおすすめ」

※入場無料、事前のご予約が必要です。詳しくは大阪支店へお問い合わせください。



▲岩崎元郎さんの講演



▲お楽しみ抽選会

#### 旅行企画・実施

観光庁長官登録旅行業第490号/一般社団法人日本旅行業協会 正会員 **ALPINE ツアー サービス 株式会社**

東京 / 〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-11 (第7東洋海事ビル4階) ..... ☎03 (3503) 1911  
 大阪 / 〒550-0003 大阪市西区京町堀1-4-3 (TCF肥後橋ビル2階) ..... ☎06 (6444) 3033  
 名古屋 / 〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-23-2 (第3千福ビル3階) ..... ☎052 (581) 3211  
 福岡 / 〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-2-8 (セントラルビル5階) ..... ☎092 (715) 1557  
 広島 / 広島サービスステーション (大阪支店転送電話) ..... ☎082 (542) 1660  
 仙台 / 仙台サービスステーション (東京本社転送電話) ..... ☎022 (265) 4611  
 北海道 / 北海道地区総代理店(株)りんゆう観光 〒060-0909 札幌市東区北9条東2丁目... ☎011 (711) 7106

e-mail: [info@alpine-tour.com](mailto:info@alpine-tour.com) <http://www.alpine-tour.com>

※ツアー・カタログはお電話、または E-mail にてご請求ください。  
 ☎03 (3503) 1911 FAX.03 (3508) 2529  
 ☎06 (6444) 3033 FAX.06 (6444) 3032  
 ☎052 (581) 3211 FAX.052 (561) 8338  
 ☎092 (715) 1557 FAX.092 (715) 0826  
 営業時間のお知らせ  
 ●平日: 9:30～18:30 ●土日祝: 定休  
 りんゆう観光営業時間 ●平日、土曜日、祝日: 9:00～17:00 ●日曜: 定休





# “地球を遠足”メンバー紹介

“地球を遠足”は今年で14年目を迎えます。岩崎元郎さんとお客さま皆さままで作り上げてきた“地球を遠足”と『山の遠足』を、これからも、もっともっと楽しんでいただけるように、チーム・スタッフ一同がんばってまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。



**岩崎 元郎** (いわさき もとお)

日本が元気を取り戻すために「一億二千万人総登山者化計画」を提唱。『山登りを始めたら読む本』他、『山で失敗しない10の鉄則』、『ぼくの新しい日本百名山』、『今ここにある山の危険』、『間違いだらけの山登り「知らなかった」ではすまされない62項目』など著書も多数。無名山塾主宰、登山インストラクター。



**芹澤 健一**  
(せりざわ けんいち)  
東京本社

11月のタスマニア企画で“地球を遠足”は第88回を終え、100回記念はいよいよ目前。これからも笑顔で楽しい山旅をご案内します。



**山田 勝**  
(やまだ まさる)  
東京本社

今冬からは岩崎さん同行のレッツ・スキー!が始まりました。初心者もブランクのある方もゲレンデに出て雪山を身近に感じましょう。



**川高 雄**  
(かわたか ゆう)  
東京本社

“地球を遠足”の企画はまさに一期一会の心得で旅を用意しています。2018年もとても多彩なラインナップになりました。



**寺井 信之**  
(てらい のぶゆき)  
東京本社

“地球を遠足”のご参加者の皆さんは、すぐに山仲間になります。今年も多彩な企画をご案内いたします。私の一押しは7月のアソレス諸島。



**林 知篤**  
(はやし のりあつ)  
東京本社

“地球を遠足”は、初めての方も安心してご参加いただける企画を目指しています。岩崎さんと一緒に歩きましょう、登りましょう!



**白旗 美紀**  
(しらはた みき)  
東京本社

2月にボリビア・ウユニ塩湖へ一緒に参加します。今年も“地球を遠足”であちこち出かけましょう!元気で盛り上げて行きま〜す!



**橋本 香織**  
(はしもと かおり)  
ツアーリーダー

3月のグリーンデルワルトゆったりスキーに同行します。広いゲレンデを思う存分に自由に滑ります。岩崎さんと一緒にレッツ・スキー!



**竹森 壮孝**  
(たけもり まさたか)  
大阪支店

“地球を遠足”チームに加わり早9年目。昨年は男の子が生まれました。2018年は『山の遠足』西日本企画にもご期待ください!



**塚本 悦子**  
(つかもと えつこ)  
大阪支店

昨年春の済州島オルレの・ハイキングに同行しました。今年は新メンバーとして、明るく元気に盛り上げていきたいと思ひます。



**前田 拓哉**  
(まえだ たくや)  
名古屋営業所

社内随一のホスピタリティ精神で盛り上げます!各地に3連泊する南フランス企画は、花が咲き始める季節でオススメです。



**宇津木 健**  
(うつぎ けん)  
名古屋営業所

フットワークと笑顔を大切に、楽しいツアーを目指します。岩山がお好きな方はぜひ韓国・月出山へ。身近ながらも確かな名峰です。



**渡部 秀樹**  
(わたなべ ひでき)  
福岡営業所

久々に岩崎さんに福岡で講演をしていただき九州のお客様と交流を深めました。新たに国立公園に加わった春の奄美大島もお楽しみに。

## 2017年 第85回 7月12日出発 スイス・アルプス・ハイキング 名峰マッターホルンと美しい隠れ里 10日間

文：橋本 香織 (ツアーリーダー)

今回の「スイス」は、南東部グラウビュンデン州のエンガディン地方とツェルマットを訪れました。エンガディンはベルニナ山群に囲まれた谷に古い歴史と独特の文化が受け継がれている村が点在しています。私達はポイント・レジーナに3連泊し、周辺のハイキングを楽しみました。まずはケーブルカーでムオッタス・ムラーユ展望台へ。サン・モリッツ湖、シルヴァプラーナ湖とサン・モリッツの街などを見ながら、牧草地や森の中を下りました。ガイドの飯野さんが突然足を止め、メンバーから歓声が上がりました。エーデルワイスがそそと咲いていたのです。厚い壁に小さな窓、グラフィット技法で描かれた幾何学文様で壁

が飾られた美しい家々の間を遠回りして戻りました。翌日は雪の残るコルバッチ展望台まで上がり、展望を楽しみ、中間駅ムルテルから歩き出しました。可憐に咲く高山帯の花に歓声を上げながらスールレイ峠にたどり着くと「キヤーツ!」とひとときわ高い声が・・・そこには氷河を抱いた格好の良い白い峰々の大パノラマが広がっていたのです。ピッツ・ベルニナ(4,049m)、ピッツ・ロゼックなど、山が近くに見え、氷河の襲撃まで見えました。帰りは馬車でゆっくりとロゼック谷を下りました。

続いてイタリア国境近く、山の中腹の村ソーリオを訪れました。名物の「栗」を使った夕食の後、スイスを代表する画家セガン

ティーニのアルプス三部作「生」にも描かれたブレガリア山群を眺めました。山と空がピンク色に染まり、鐘楼からはガランゴロン♪と鐘の音が流れ、なんとも幸せな時間でした。

サン・モリッツからツェルマットまで『氷河特急』に全線乗車し、8時間の旅も飽きることはありませんでした。ツェルマットでは、食事が美味しいハイクラスなホテルに3連泊し、ハイキングと展望台巡りを楽しみました。

今回の「スイス」も想像以上の絶景と、予想以上の美食を満喫することができました。岩崎さんからも「スイスの良い所をまた見ちゃったね!」という言葉いただき、再訪を誓ったのでした。



▲ベルニナ山群をバックに



▲美しい静かな村、ソーリオ村



▲ゴルナーグラート展望台にて





**第87回** 2017年10月30日出発 **ネパール絶景のランタン谷トレッキング 10日間**

文：山田 勝(東京本社)

“地球を遠足”シリーズでは毎年ネパール・ヒマラヤ・トレッキングをご案内しており、2017年はランタン谷を歩きました。大韓航空を利用し各地からご参加者12名と岩崎元郎さんがソウル(仁川)で合流した後、一路カトマンズへ。夕景のトリブバン空港へ到着後、明日からのトレッキングに備えホテルへ。

翌朝も再び空港から3便に分かれてヘリコプターでランタン谷へ一飛び。カトマンズから車と徒歩で3日はかかることを往路はヘリを利用してU字谷の始まるゴラタベラ(3,010m)へ着陸して、トレッキングがスタート。岩崎さんとおなじみのニマ・シェルパ(サーダー)さんが先頭でゆっくりペースで

タンシャップ、そしてランタン村へ。ランタン村の手前から2015年4月25日ネパール大震災で崩落したエリアを通過し、あらためて被害の大きさを目の当たりにした一方でロッジやゴンパ、橋の再建や水力発電など日本も含めて多くの国々からの復興支援も多く見られました。

最終目的地でもある谷の展望が開けたキャンジンゴンパ(3,840m)で2泊。今回のトレッキングでもずっと天候に恵まれ、主峰ランタン・リルン(7,225m)、ヒマラヤひだが見事なガンチェンポ(6,387m)などランタンの美しい山々と氷河を余す所なく望むことができ、以前と変わらないヤクやゾッキョの放牧も

行われており、のどかで美しいランタン谷は今も変わっていないと感じました。キャンジンゴンパからさらに絶好の展望ピークとなるタルチョーピーク(4,350m)へゆっくりと時間をかけて登頂し、メンバーからは歓声が上がりました。広く美しいランタン谷と氷雪の峰々を見ながら岩崎さんが「山はこれだから止められないね。」とつぶやいたのが印象的でした。

往路は谷の大きさや深さを実感しながら頑張っって徒歩で2日かけてシャブルベンシへ全員が元気に下山。翌日はさらに車で1日かけて喧噪のカトマンズへ戻りました。今年の10月も岩崎さんが大好きなネパールを計画していますのでぜひ、ご参加ください。



▲広いランタン谷に行く



▲タルチョーピーク(4,350m)を目指す



▲絶好の展望ピーク、タルチョーピーク(4,350m)にて

**第88回** 2017年12月6日出発 **タスマニア島・満喫ハイキングと憧れのスピリット・オブ・タスマニア号 10日間**

文：橋本 香織(ツアーリーダー)

“地球を遠足”記念すべき第88回はオーストラリアの南東部に浮かぶ「タスマニア島」を訪れました。夏を迎えたタスマニアではお天気に恵まれ、素晴らしい景色、たくさんの珍しい花、野生動物に出会うことができました。

ハイキングはタスマン国立公園のホイ岬まで粗粒玄武岩の柱状節理の断崖の上部を歩く少しスリリングなコースです。サファイアブルーの海が輝いていました。帰りの登山道で「ハリモグラ」に出会いました。彼は狩りと食事中(土の中のアリなどを捕まえて食べる)で私たちに気を留めることもなく一心不乱に掘り進んでいました。とってもかわいかったです。

フレシネイ国立公園のウィングラスベイま

でのハイキングでは「ワラビー」が出迎えてくれました。ウィングラスベイという弓形の白砂のビーチの美しいことといたら・・・思わず登山靴を脱ぎ海に入りましたが、南極につながっている海の水は驚くほど冷たかったです。

ビシエノでは夜、フェアリーペンギンを見に行きました。日の出前に海に入り、日の入りとともに子どものための食糧でおなかを膨らませ、外敵からの危険回避のため集団で陸に上がって来るのです。野生のペンギンをこんなに近くで見られるのは本当に珍しいことです。

トロワナワイルドライフパークではたくさんの動物、鳥が保護されていました。タスマニア・デビルは絶滅を危惧されている動物で

すが、生まれたばかりのデビルも数匹いて、愛くるしい姿を見せてくれました。

クレイドルマウンテンロッジには2泊し、計3回のハイキングを楽しみました。見る角度によって姿をかえるクレイドルマウンテンは個性的な山容ですが、近づく柱状節理がよく見えました。ティーツリー、スノーガム、ワラタ、ボローニャ、メラルーカなどが花盛りでした。ロッジの周りでも日が落ちると、ウォンバット、ワラビー、ポッサムなどが姿を現し、空を見上げれば南十字星がまたたいていました。

船でバス海峡を渡り、メルボルンでの観光も楽しいものでした。詳しくは、ぜひアルパインツアーのHPをご覧ください。



▲ホイ岬への往復ハイキング



▲フレシネイ国立公園のウィングラスベイ



▲クレイドルマウンテン国立公園でのハイキング